



深江城から藤津郡への道筋

上図は8世紀頃の高来郡を中心にした佐賀への道路地図である。深江村からは海岸線と、雲仙岳の背後を回って神代村へ行く道路が書かれている。他に島原の眉山の後ろを越える山道がある。しかし、安徳城の寝返りで不通状態になり、海岸線は既に島津兵の占領下にあった。やむなく雲仙岳の背後を越える道しかなかった。

上図の地図から、神代から陸路鹿島を目指した道筋を考えたが、島津軍は有明海岸を竹崎城近くまで北上、勢力範囲を広げようと図った。危険を考えると、彼杵から嬉野越えて鹿島へ抜けたと推考される。どの道筋を通ったかは記録にない。